

校歌
 銀杏の木陰 道ひろく
 真理にひらく 知恵の門
 みのりゆたかに いま結ぶ
 木の実尊き掌 幸ありわれら
 われらが腕 土のかおりも
 さわやかに



発行
 大阪府立園芸高等学校大園同窓会
 〒563-0037 池田市八王寺2-5-1
 印刷
 株式会社 サラト
 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
 電話 079-284-1380

災害復旧進む 教えの庭 —— 同窓生の植樹奉仕

令和2年11月15日、秋晴れの日曜日。想いで多き実習庭園から楽しそうな声が聞こえました。

大園同窓会主催の植樹奉仕にお集まり頂いた面々、まさに老若男女。共通点は卒業生！これだけで初対面も問題なし。会報やホームページの呼びかけに応じて駆けつけて下さった大先輩——何十年ぶりの帰校と、お話と共にタイムマシーンが動き出し、初対面の未知との遭遇が始まりました。

さすが園芸高校、100年の歴史が伺えます。平成30年秋の台風被害がまだまだ残る実習庭園ですが、同窓生や関係者から復旧浄財を賜り、徐々に進めた復旧作業による剪定の効果もあり、芽吹きが促進され木々の緑は少しずつその色を濃くしています。「庭園を美しく魅力的な姿に育てていくことに少しでも力を尽くそう」との思いで生まれた『植樹奉仕』。

午後1時、小南会長の挨拶でスタート。(因みに会長は造園科の出身) お話にながら力がかもっていました。作業テーマは同窓会館の魅力アップ！アプローチ部分の植栽で景観を演出することに。作業説明の後、班分けして作業へ。スコップを持つ人、担ぐ人、水遣りバケツを下げる人、ハサミをチョキチョキ、ウォーミングアップする人。慣れた人、初めての人。気持ちウキウキ。目の前には前日に用意されたハナミズキやサツキ等の幼木。段取りOK！しかし、中々作業は進みません。そこで登場！昨年度のPTA会長(卒業生、造園業)は、説明しながら手取り足取りで実力発揮。あちこちでミニ講習。ちょっとした休憩もそこそこに作業続行。身体も口も動かしての楽しい時間が過ぎます。作業後は、同窓会館の引き戸を開けてワイドビューイング。お茶を頂きながら、秋色に染まる庭園の紅葉を満喫。ふけゆく秋の一日を楽しみました。

最後に校長先生から労いとお礼のお言葉を頂き、再会を期して散会しました。

本校の実習庭園は、学校にとどまらず地域の緑地環境の向上に貢献している、貴重な社会資産の一面も持ち合わせています。学習園の機能を生かしながら、近郊・近隣に対する庭園緑地の新たな活用の仕方も大いなる課題でもあります。SDGsが世界的なテーマとなるなか、豊かな緑を抱く園芸高校と地域との結びつきを深める大きな可能性を期待されるものです。

コロナ、温暖化、災害等々、想定外の事象が並び起こってきますが、我が園芸・同窓生は、先輩から受け継いだ、何事にも負けず、怯まず、粘り強く前を向く「園芸魂」を思い起こし、先輩、後輩、同級生とお互に励ましのお言葉をかけながら、この難局を乗り切って参りましょう。

本事業にご支援・ご協力を頂きました関係者の皆様に、厚くお礼申し上げます。



令和2年(2020年)11月15日



令和3年(2021年)8月15日 実習庭園



令和3年度創立記念祭開催中止決定のお知らせ

令和3年度創立記念祭は、新型コロナウイルス感染防止のために、誠に残念ですが開催中止を決定致しました。創立記念祭は、本校の創立を記念して毎年11月の第2日曜日に開催し、卒業生や家族連れなど6千人以上が訪れる一大イベントとなっています。庭園や花壇の展示や野菜、果物、草花、加工生産物の販売など、生徒が丹精込めた日頃の学習成果を公開する貴重な場となっています。

緊急事態宣言下、2年続きの中止であります。来年度は、コロナ禍を克服した陽光輝く記念祭を開催して参りたいと決意致しております。

今後とも、本校の教育活動に対しご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

学校長

令和3年度大園同窓会総会のご案内

日 時：2022年(令和4年)2月27日(日) 11:00 開会

議 題：事業報告・会計報告等

総会会場：大阪府立園芸高等学校 本館1階 会議室

懇 親 会：内容・会場は後日発表(ホームページにてお知らせします)

学校・PTAとさらなる連携を



ご挨拶

大園同窓会 会長 小南 修身

大園同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症、特にデルタ株が世界中に蔓延するなか、日本においても更なる猛威を振るっているところですが、会員の皆様におかれましては、うがい・手洗い・消毒・密接回避など種々の感染防止に励行されていることと存じます。

新型コロナウイルスの対策としましては、ワクチン接種率の向上が目下の急務であり、同時に新治療薬も世界各国で開発が進んでいますが、将来この

感染症の蔓延による社会構造の変化が定着し、私たちがその適応が不可欠になるものと思われま

また、梅雨以降の豪雨による土砂流出・河川氾濫等の災害や、8月に入っては前線停滞の影響により、梅雨を凌ぐ激雨が九州・中国から日本全国中に激甚災害をもたらしています。

加えて九州を中心に全国的に甚大な被害の傷痕を残すとともに、世界中にもたらされる異常ともいえる気象の変化は地球環境・地球温暖化防止の面からも避けて見逃すことが出来ない事象です。

お亡くなりになられた方々に、心よりお悔やみを申し上げますとともに被災された皆様、また感染症に罹患されました皆様方にお見舞いを申し上げます。

このようななか、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。新型コロナウイルス禍中、賛否が拮抗する国民感情の元で強行された感での開催でしたが、世界各国から集められたアスリートが、その体力の限界に挑む姿は我ら人類の更なる可能性を知らしめたことと思います。

特にパラリンピックにおいて、選手を支えるコーチやボランティアによる互いに支え合うことの大切さを、その姿を私たちが目の当たりにすることに、コロナ禍中であつたにもかかわらず大会を開催された意義は大きく、人類の多様性を再度認識し共生社会の

実現に向けて、何ができるかを考える呼び水になったと思慮するところです。ここ数年、国土交通省によるユニバーサルデザインの推進は大きく前進していますが、人口の少ない地方ではまだまだ遅れていることに、更なる地域間格差の解消に努め、バリアフリー化を加速させる追い風にしなければならぬと思うところです。

本校においては、今年も進学・就職等の卒業生の各進路が順調であり、喜びをもって報告を戴いているところであります。

私たち大園同窓会においても、生徒を中心とした母校が、より発展されま



地域に信頼され、誇りとされる学校をめざして

大阪府立園芸高等学校 校長 真鍋 政明

大園同窓会会員の皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校教育活動に對しまして、多大なご協力とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症につきま

大園同窓会では、6月21日から8月1

日までのまん延防止等重点措置期間を挟み、現時点では、4月25日からの緊急事態措置が9月30日まで実施されました。この間、府立学校では、感染防止策を徹底しながらも教育活動を維持していくといった方向性が示され、昨年度実施したような生徒を午

前午後や曜日に分けての分散登校や短縮授業は行わず、通常形態(1教室40人まで)を継続しています。一方、生徒もしくは教職員で一人でも罹患者があれば、学校全体として臨時休業措置をとることになっていきますので、常に感染防止の徹底を図るなど、気を抜くことができない状況が続いていま

す。

本校では、夏休み期間の8月25日から31日までを授業日としていた

が、生徒間の感染リスクを減じるため、8月26日からの生徒の登校をストップし、さらに9月1日から22日までを午前中のみの登校とし、午後からは配付プリントやオンラインによる家庭学習といたしました。生徒たちには、高校生活を心から満喫できない状況が続く、何とかしてやりたいと思

っています。まずは、命と安全の確保に向け、感染状況に沿った対応をとらなくてはなりません。

このような中、毎年11月に開催している創立記念祭につきましては、昨年度に引き続き中止といたします。卒業生の皆様や地域の皆様には誠に申し訳ありませんが、どうかご理解をお願いいたします。

さて、本校校長として4年目を迎えました。この間、「確かな学力の育成」「安全安心で魅力ある学校づくり」「夢

と志を持つ生徒の育成の3つを教育目標として掲げ、学校全体の教育力の向上、魅力化とその発信に向けて力を注いでまいりました。また、教職員の先頭に立つことを心がけ、小南修身会長をはじめ大園同窓会の役員等の皆様とのコミュニケーションを図り、本校の教育課題を包み隠さず打ち明け、ご支援を賜り、ご協力をお願いいたします。今後の成果につきましては、今後、形となつて表れるものと期待しています。

最後に、引き続き、農業高校としての機能を最大限に活かす社会や産業の発展に貢献できる人材を育成することにより、地域に信頼され、誇りとされる学校をめざしてまいりますので、同窓会の皆様方には、母校の発展のために、種々のお力添えを賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。



ごあいさつ

大阪府立園芸高等学校 令和3年度 PTA会長 梶師 登

昨年度に引き続き、PTA会長を務めさせていただいております梶師でございます。大園同窓会会員の皆さまには、日頃よりPTA活動にご理解ご尽力いただき、心より感謝申し上げます。去年度はコロナ禍において、子どもたちに何が出来るのかと話し合いを重ね、先生方とPTAが協力し、環境美化清掃活動の一環として正門前のゴミ拾いを実施いたしました。また毎年恒例のブドウ狩りをブドウ収穫販売会として開催いたしました。

本年度も、ご周知の通りコロナ禍のため、残念ながら修学旅行をはじめ多くの学校行事が見合わされ、中止となっております。

PTAとしましては、歴代の役員会の皆さまのように、学校、地域と一丸となり子どもに寄り添い、活動したいとオンライン等でも会議をもちました。残念ながら昨年以上にほとんどの行事が中止となりました。昨年開催できたブドウ収穫販売会も中止を決定いたしました。

この状況のなか、これからも伝統あるPTA活動を継続するために、より安全に配慮し、学校と保護者の連携を大切に、生徒を笑顔にするPTA活動を模索、実践させていただきたいと考えております。今後ともPTAにご指示、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年度 大園同窓会総会報告

新型コロナウイルス感染第3波の終息が見通せないことにより、令和3年度大園同窓会総会が中止となり、異例の事態のなか急遽役員会をもって各種案件を協議することとなりました。（ホームページ及び支部の連絡網で周知）

令和3年2月28日（日） 11時より大阪府立園芸高等学校本館1階会議室において開催されました。

- ・小南会長挨拶
- ・真鍋学校長挨拶

会長及び学校長からは、新型コロナウイルスの蔓延及び拡大の中での、総会中止と役員会開催の経緯が説明され、また、卒業式の状況などと今後の学校運営の見通しなどが話されました。

議事に入る前に、同窓会としての「年度」に関する説明がなされました。

従来の「年度」は、1月1日より12月31日までとして会を運営してきましたが、学校運営と合わせて4月1日から翌3月31日に変更することになりました。（昨年の総会において会則に従って変更済）

《議案》

第一号議案 令和2年度の事業報告及び令和3年度の事業計画が下記のように説明されました。

令和2年 事業報告

- 1月 25日（土） 第1回役員会
- 2月 27日（木） 令和元年度同窓会入会式
(担当 同窓会事務局)
- 2月 28日（金） 令和元年度卒業式
- 3月 1日（日） 第2回役員会・総会
(大阪府立園芸高校会議室)
- 7月 18日（土） 会報編集会議
- 10月 16日（金） 会報第44号発行
- 11月 15日（日） 庭園復旧事業
苗木植樹奉仕

令和3年

- 2月 25日（木） 令和2年度生同窓会入会式
(担当 同窓会事務局)
- 2月 26日（金） 令和2年度卒業式
- 2月 28日（日） 第3回役員会
(大阪府立園芸高校会議室)

*同窓会総会は中止し、役員会で議事しました。

※コロナ禍により、感染防止のため主たる行事は自粛させて頂き、必要な行事は人数を縮小して開催させて頂きました。

令和3年 事業計画

- 5月 中旬 第1回役員会・幹事会
- 7月 中旬 会報編集会議
- 7月 下旬 第2回役員会
- 8月 中旬 会報編集会議
- 10月 会報第45号発行
- 11月 14日（日） 創立記念祭（中止）
- 第3回役員会
- 12月 上旬 第4回役員会・幹事会

令和4年

- 1月 下旬 第5回役員会
- 2月 27日（日） 第6回役員会
同窓会総会
(大阪府立園芸高校会議室)
- 2月 28日（月） 令和3年度生同窓会入会式
(担当 同窓会事務局)
- 3月 1日（火） 令和3年度卒業式

※コロナ禍により、宣言の発令状況により変更・中止がありますので、支部の連絡網、ホームページを確認して下さい。

審議後、採決が行われ、賛成多数により承認されました。
第二号議案 令和2年度 会計報告（令和2年1月1日～令和3年3月31日）

榎原会計による報告と谷端監査による監査報告がなされました。

収入	支出	残高（繰越金）
3,041,064	1,735,738	1,305,326

上記説明後、承認を諮ったところ、賛成多数で承認されました。

*事務局よりのお願ひ事項がありました。

- ・ホームページにバナー広告を掲載して卒業生企業を広くアピールしたいので、希望する方は申し込みをお願いします。
- ・古い貴重な写真や卒業アルバム等々の寄付をお願い致します。
- ・同窓会の資金が不足しており、会費収入を高めたいと検討しています。各支部や同期の同窓会などで積極的に呼びかけをお願い致します。
- ・学校では学校説明会を開催し、近隣地域での出前説明会を積極的に開催しております。しかし、昨今の少子化の影響で受験生・入学者の確保に苦心しています。卒業生の啓蒙活動及びご協力を是非とも宜しくお願い致します。
- ・最近、卒業生及び現役生の活動が度々TVに取り上げられています。できるだけご報告致したいと情報察知に努めています。つきましては、ホームページに可能な限り掲載しますので、確認をお願い致します。また、事前察知された方の投稿をお願い致します。

以上



園芸 歴史列伝 第2回



最初の海外学位授与者

大塚 乙衛氏 (高21化)

(米アダムスミス大 理学博士)



1966年(昭和41年)4月、銀杏並木を目指して、がっちりした体格に茶目つきたっぷりなマンマルな目のピカピカの1年生が校門から入ってきた。入学式の後、直ぐに柔道部を目指した。いきなり、黒帯が道場に現れ、皆が度肝を抜かれたこともあった。そこは、笑って許して!とあつけらんかん。

クラスが決まると、その明るい性格で誰とでも仲良くなり、人気者になった。勉強はほどほどであったが、2年3年

となるにつれ、とことん納得を求める姿勢が加わった。ある時は、薬品(化合物)を求めて大阪大学の教授のところまで、教えを乞いに行ったことも。

まだ、進学する生徒が少ない時代であったが、皆で大学を目指そうと自主勉強会を開き、何人もクラスメイトが参加し、当時としては異例ともいえる多くの進学者を輩出した。

近畿大学農学部を経て大手流通・食品販売会社に入り、管理職に就いてからも柔道、合気道、居合道に勤しみ、整体師の資格も取得した。

その時であった。小さな子どもの病に遭遇した。それは、脊椎が曲がる原因不明の「脊柱側弯症」。10代の子どもにも多く発症し、整形外科では背中を開いて背

骨の添え木となる金属を挿入して矯正する方法をとる。成長につれて定期的に金属の長さを修正しなければならぬ。その度に背中を開くことになる。20代半ばの骨の成長が止まるまで数回続く。その凄まじい状況を知って、居ても立ってもいられなかった。会社を辞め、直ぐに納得のある方法を創造しだした。同時に「大塚整体治療院」も開設した。その結果、効果のある運動方法、器具と矯正器具を使つての方法を確立した。反響は広がった。全国各地から、海外からも治療を求めて子どもさん達が通院してきた。中には大病院の整形外科教授の娘さんも通ってきた。実用新案特許や商標も認められ、論文や講演で世界に向け情報発信した。その論文を見出した米アダムスミス大から、2005年(平成17年)理学博士号が授与された。

数多くの子どもさんの治療に当たり、その希望の人生を送り続けたが、体調を崩し、若い後継に更なる改良を託して、2016年(平成28年)8月、66歳で永眠された。

園芸高校時代の文集に、「若者達よ、凶太く、でっかく行動しよう。有言実行!」と書いていた。

園芸高校時代の文集に、「若者達よ、凶太く、でっかく行動しよう。有言実行!」と書いていた。

園芸高校時代の文集に、「若者達よ、凶太く、でっかく行動しよう。有言実行!」と書いていた。

近況報告

若いもん 頑張っています!

高68 環境緑化科 2016年卒 見上 光

鳥取環境大学へ進学後、仲間と改修した集落の古民家を活動拠点として、「過疎の集落を農村学生街へ!」を目標に、耕作困難田で伝統的稲作を試みて早5年目を迎えます。

食費まで切り詰め、資金を出し合い、農業全書(宮崎安貞著、江戸初期の農書)を入手輪読し、漢語で書かれた本を手書きで写しながら現代語へと読解する座談会が連日連夜ありました。見兼ねた農家の方々が、差し入れて下さる猪や鹿の肉と一升瓶が無ければとうに音を上げていたと思います。

(笑)

苦学を経て、活動が輩出したOBの仲間は、県の水産試験場、農協、専業農家、酒造業者、大学院などへ活躍の場を移しながらも、今度は活動の支援者として、学生や専業農家志望仲間を支援してくれています。

活動は世代交代を重ね軌道に乗ったので、私は運営を仲間

しかし活動から身を引いた訳ではなく、今も月に1回程度、定期的に鳥取と大阪を行き来して、田植えや稲刈り、夏の草取りなど泥に塗れて頑張っています。

私がこの活動を始めるにあたり青写真にしたのは、園芸高校のさらかな雰囲気と、それを育み護る大園同窓会との関係、つまり、人間主義の組織力でした。

いよいよ皆さんと同じ、社会人に肩を並べようとする時、母校100年の歴史を次の100年へとバトンを受け継ぐ自負と責任に身が引き締まる思いです。

大園同窓会の皆さまに於かれましても、より一層の熱量で、母校の現役生、現場の先生方、そしてOBの青年世代の活躍へ、熱い激励とご支援を賜りますようお願い致します。

そして末筆ながら、コロナ禍の時代です。どうか皆さまお身体にご自愛下さいます様お願い申し上げます。筆を擱かせて頂きます。



新型コロナ禍を超えて希望の未来を創造！

感染拡大が打ち続く日々。COVID-19（新型コロナ）との戦いも、間もなく2年目を迎えます。それぞれが、身体的に、家庭的に、仕事・経済的に戦い工夫を繰り返す毎日です。

国民全員が（世界人類が）ほぼ平等に受ける、正に国難（世界難）です。より強力な変異株の出現を聞くと、まだまだ油断ならない状況です。しっかり対処して参りましょう。

その間、オリンピック、高校野球、パラリンピックが開催され、アスリート達から、未来へ希望を持って前を向くエネルギーを貰いました。オリンピック及びパラリンピックでは、史上最高のメダルを獲得しました。困難なコロナ禍での開催で、さまざまに知恵を巡らした国民、ボランティア、関係者に対し、世界の多くの国、機関が絶賛したことも記憶されるべきことです。しかしながら、世界的なパンデミックにおいても、世界が一致して協力できない、国家と人間の在り方も厳しく見直さなければならないとの指摘も多くあります。

このような中で、我が園芸高校の現役生や教職員の方々は、100年に及ぶ伝統精神を発揮して、卒業生を送り出し、また、新入生を迎え入れて、黙々と勉学、研究に励んでいます。

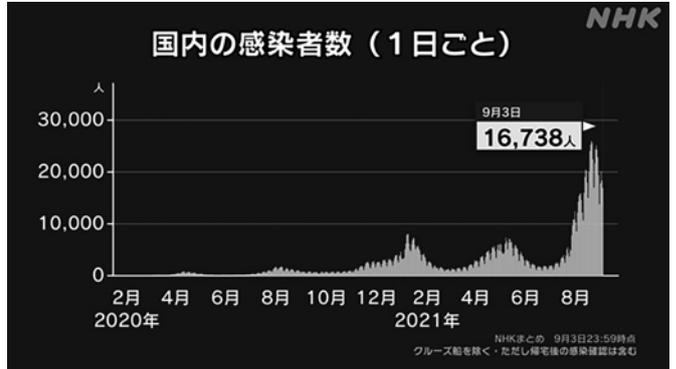
この闘争と経験は、必ずや100年の歴史的偉業と称賛されるこ

とでしょう。

そこで、歴史を残すために（代表して）大阪府下の動向を「同窓会報」に記録として留めることにしました。コロナ禍後に、貴重な歴史として振り返って下さい。

現役生にエールを送りつつ、大園同窓会は園芸魂を発揮して注意と創造を重ねて無事に乗り切って参りましょう。

■大阪府の新型コロナウイルス陽性者数推移（2020.03.01～2021.08最新）



コロナ禍の中を頑張る同窓生の声

- 鍋谷将（高8 1956年卒 兵庫県猪名川町）
社協等の会長職を終え、今は元々の野菜を中心に農業に勤しんでいます。猪名川の道の駅にも出荷中。コロナ禍で農林業と漁業と健康がクローズアップされています。園高生の活躍の時代です。若き園校生の皆さん、新たな時代へチャレンジを！！
- 佐々木〈上田〉隆夫（高17園 1965年卒 宮城県亘理町）
10年前、東北大地震で津波を受け自宅は流失し、イチゴ栽培のハウスは全て失いました。
全国、地域の各方面の方々の支援を得て農業を再興し、自宅も再建しました。又、同窓生が大阪で激励会も開いてくれました。この温かい園芸魂を心に頑張っています。
- 青木祥太（高21化 1969年卒 神奈川県川崎市）
園芸を卒業して入社した製薬会社を定年退職し、家族の関係で川崎に移り住み11年。現在は、クラスの幹事としてLineグループをネットし皆と楽しく交流しています。長年の経験上、医薬品の記事、特にコロナワクチンや治療薬については今も詳しく読んでいます。生涯勉強と心得て。
- 泉原一弥（高29造 1977年卒 岸和田市）
地球温暖化防止活動推進員として活動しています。世界初のエコカー「やぁね、こけちゃっかー（屋根苔着車）」を考案しました。苔の魅力発信活動として「苔テラリウムワークショップ」も好評です。多数メディア露出中です。
(詳細はこちら) → <https://koketerariumu-sakuraya.net/>
- 福田〈山岡〉十糸子（高40化 1988年卒 兵庫県宝塚市）
「大阪府立園芸高校」、40年以上前に耳にしました。当時小学

- 生の私は、7年上の姉が毎日楽しそうな生き生き通学を目に。7年後、当然の如く園芸生となり、楽しい学校生活を送る事が出来ました。その20数年後、2人の我が子も相次いで園芸生となり当然の如く楽しい生活を送る事になるのです。私もPTAに。今でも息子は「高校の3年間は一番楽しかった」と言います。園芸高校は楽しい所。人生も楽しい。園芸ありがとう、一家揃って感謝！
- 塚田〈恒川〉円（高44微 1992年卒 池田市）
皆様、お元気でお過ごしでしょうか。現在、老人保健施設に勤務していますが、面会など生活にしいられる制限が強くなっており、我慢生活です。園芸療法も制限を受け、何とか畑の景観や収穫物の調理を厨房で行うなど工夫して行っています。施設では、ワクチンもほぼ打ち終わりましたが、感染対策や予防は引き続き行っております。大変な時期だとは思いますが、大園同窓会の皆様、一致団結して、コロナ禍を乗り越えましょう。
- 樫原佐代子（高63環③ 2011年卒 摂津市）
園芸高校を卒業後、大学へ進学し教員免許を取得しました。昨年度まで母校である園芸高校で6年間勤務しました。今年度より転勤となり、新しい地で一から勉強しております。毎日が新しいことだらけで、まだまだ慣れるまでに時間がかかりそうですが、日々楽しく学んでいます。良いニュースが少ない時期ではありますが、新型コロナに負けず頑張っていきましょう。園高生！前を向こう！！

事務局からのお願い

- 各クラス、学年で同窓生の名簿を保持または作成している方をお願いします。
名簿又はメールLineグループがあれば事務局までお申し出ください。 auamx609@wombat.zaq.ne.jp 山本宛
- 幹事の方をお願いします。
幹事の方が入ってLine、Zoomのネットを形成してください。今後、110周年に向けて同窓会員相互の連携をとれる体制を築いて参りたいと思います。
- コロナ禍が続くと考えられますので、今後、役員会及び幹事会は、リアルまたLine、Zoomで開催することも考えていますので、該当の皆様はそれぞれスマホにアプリをインストールしておいてください。
- 卒業アルバムや学生時代の物品等、ご提出頂ける方は、お申し出ください。
110周年に向けて、過去の貴重な物品を残していく方向です。事前に内容をお知らせください。
auamx609@wombat.zaq.ne.jp 山本宛

園芸高校生徒活動状況報告

キムチ製造活動記録 BS

バイオサイエンス科農産加工専攻では、以前からしぼり大根・カブの千枚漬けなど漬け物の製造・販売を行って来ました。ここでは昨年度、2年生（現在は3年生）が新たな漬

野菜を減らすことも同時に達成しようと考えました。野菜を多く栽培しているフラワーファクトリ科を中心に調査を行ったところ、白菜は形がよくない・割れてしまうため販売できないことを知り、白菜キムチを作ることに決定しました。

紹介させていただきます。農産加工専攻の主な活動内容は、近隣の保育園などと連携した食育に関する活動や加工食品の商品開発を行っています。これまでに取り組んでいる加工食品は、漬け物、味噌、青ミカンジャム、福神漬け、イモバタージャム、おからを使用したプロテインバーなどなど。まだ商品化されていない物もありますが、現在も販売に向けて試行錯誤を重ねています。

次に苦労した点はヤンニョムの材料です。ヤンニョムとは、唐辛子・ニンニクなどを混ぜ合わせたもので、キムチの味の決め手となる調味料のことです。キムチの本場である韓国では、それぞれの家庭で味が異なると言われていました。それだけ奥が深く、大変ではありますが、やりがいを持って取り組みました。市販されているキムチを研究し、味は多くの方にたべてもらいたいように甘いキムチを目指すことにしました。放課後や休みの日も研究を重ね、まさしくキムチ漬けの日々を送っていました。

最終的に完成した白菜キムチは、材料の選択から分量まですべての内容を生徒が1から考えたものです。完成まで約3か月かかり、生徒の表情が取り組み始めた頃と完成した頃を比べると大きく変わっていたことがとても印象に残っています。

完成後、初めて販売を行った昨年の学習成果発表会では、売れるかドキドキしていたのも束の間、準備していた約70個が販売開始の10分程度で完売し、生徒も大喜びでした。その後、箕面市のJA大阪北部・学校説明会・校内の販売などでは、「美



園芸高校で販売予定のキムチ。園芸高校で販売予定です。

味しかったよ」「次はいつ販売するの?」と言っていたとき、リピーターさんがいることを実感しました。現在は、白菜キムチの改良を重ねるとともに、新たなキムチの開発に向けて取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響で、活動・販売が制限されることもありましたが、校内の販売所「フレッシュカート園芸

園芸オリジナルソース開発 FF

昨年度に引き続き、フラワーファクトリ科果樹部ではソース開発を継続中です。昨年度は原材料となる規格外果実の確保、加工や大黒ソースとの打ち合わせ等を行いました。今年度は試作品の製造、アンケートや科学的な評価およびラベルデザインを行い、本格的な製造に移行します。大阪府立環境農林水産研究所にて味覚センサーにより市販品の科学的な味の分析を行いました。その結果、市販品と比べ旨味や甘味、



大阪府立環境農林水産研究所での研修

熟成感が高く、市販品との差別化ができました。さらにラベルデザインのためナーの方を講師として

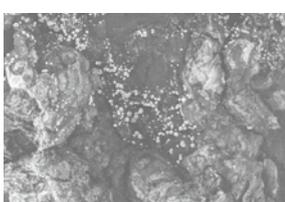


大阪府立環境農林水産研究所での研修・実験

講座を開催し、生徒が主体となりラベルのデザインをしました。これらの取り組みをまとめ「高校生が描く明日の農業コンテスト金賞」、「FJ」近畿大会意見発表優秀賞」をいただきました。大阪産（もん）として今年の記念祭までに商品の完成を目指します。

園芸高校内で日本初報告のキノコ発見 FF

園芸高校果樹園にて日本では未報告のキノコを確認しました。樹皮上に発生する200〜500μmほどの非常に小さなカップ型のキノコです。このようなキノコは目を向けられにくく、研究者も少ないため、研究が進んでいません。今回、この日本未報告種について詳細な形態観察や文献調査を昨年度から行っており、日本だけでなくアジアにおいても初報告であることがわかりました。本校では2016年現在までも博物館と協力



日本およびアジアで未報告のキノコ

今年こそ造園技能士を目指して! KR

昨年度は、コロナ禍により造園技術者の登竜門である造園技能検定の実施が中止となり、技能士をめざしてきた環境緑化科生徒にとって残念な1年となりました。本年度は、去年受験できなかった3年生と新たに受験を目指す2年生の総勢49名が造園技能検定に挑戦しました。技能検定は筆記と実技の2部門の試験からなり、生徒たちは4月から検定日に向けて普段の授業や放課後の特別講習で受験指導を受けてきました。とくに野外での実技実習では、長雨と酷暑の中よく頑張り、たくましい成長を見せてくれました。実技検定の当日は天候にも恵まれ、日ごろの練習の成果を発揮してくれたことと思います。生徒たちも結果を楽しみにしています。



令和2年度進路状況

令和2年度学校紹介就職内定先一覧

〈農業、園芸、造園関係等〉

阪神園芸(株)5名、日本中央競馬会、(株)かきうち農園、西武造園(株)、乾造園(株)、(株)三高造園、大阪北部農業共同組合、トレーダー愛(株)、(株)大阪ビル管理、日鉄ビジネスサービス関西(株)、関西化学(株)などにわ花いちば

〈化学系製造〉

住友化学(株)大阪工場、東洋紡(株)敦賀事業所、沢井製薬(株)三田工場2名、共和薬品工業(株)三田工場2名、太陽ファルマテック(株)、(株)コスモビューティー、住化カラー(株)、健栄製薬(株)

〈食品系製造〉

マリンフード(株)2名、敷島製パン(株)、山崎製パン(株)、橋本食糧工業(株)、第一屋製パン(株)4名、ハウスウエルネスフーズ(株)2名、伊藤ハム(株)、日澱化学(株)、ベル食品(株)、三嶋フーズ

〈食品系流通〉

大阪中央青果(株)、(株)阪急オアシス、イオンリテール(株)近畿カンパニー、伊丹産業(株)、(株)カノー

〈工業系製造〉

富士シート(株)、ボルト(株)、池田化工製紙(株)、東洋製罐(株)茨木工場、(株)川村金属製作所、金森合成樹脂(株)、湯山製作所(株)、(株)島田工業、(株)ウノファクトリー、神崎合紙(株)

〈ゴルフ場(コースキーパー倉)〉

茨木カントリー倶楽部、宝塚ゴルフ倶楽部、読売ゴルフ(株)、山の原ゴルフクラブ、愛宕山ゴルフクラブ

〈電鉄・運輸〉

阪急電鉄(株)、三重交通(株)、福山通運(株)

〈販売・サービス〉

(株)蓬萊、(株)鳥芳、(株)USEN、NEXT HOLDINGS、近畿セイビ(株)、(株)アヤハデイオ、(株)ニューヨーク・ニューヨーク、(株)萬野屋、(株)ステップワーク、阪神髭定、山文商事(株)、(株)ヨコハマ

〈病院、介護、医療系〉

ワタキューセイモア、(株)近畿支店、(株)アスモ介護サービス、創生会(株)にしけい、セコム(株)、(株)全日警、(株)AOS

〈保安〉

鳥取大学農学部生命環境農学科、徳島大学生物資源学部、京都教育大学教育学部技術領域専攻、秋田公立芸術大学美術学部美術学科

〈国立大学〉

近畿大学農学部農業生産科学科、龍谷大学農学部資源生物科学科、龍谷大学農学部食料農業システム学科、龍谷大学農学部植物生命科学科、日本大学生物資源科学部国際地域開発学科、吉備国際大学農学部地域創成農学科、京都先端科学大学バイオ環境学部食農学科、長浜バイオ大学バイオサイエンス学部フロンティアバイオサイエンス学科、南九州大学環境園芸学部環境園芸学科

〈私立大学(農業関連)〉

神戸電子専門学校情報処理学科、大阪ECO動物海洋専門学校動物高度医療科動物看護福祉&理学療法専攻、動物&海洋科ドルフインストラクター専攻、動物園・動物飼育専攻2名、大阪歯科衛生士学院、日本分析化学専門学校健康化学分析学科、医療医薬分析学科、大阪ブレイメン動物専門学校、大阪ビューティアート専門学校トータルビューティ科、美容科、駿台観光&外語ビジネス専門学校・韓国語学科・韓国語(韓国短期留学)コース、大阪調理製菓専門学校2名、大阪アニメーション専門学校マンガ・イラスト学科、ベルエベル

〈私立大学(非関連)〉

大手前大学総合文化学部総合文化学科、大手前大学現代社会学部現代社会学科、大手前大学建築&芸術学部建築&芸術学科2名、大阪学院大学経済学部経済学科、大阪人間科学大学心理学部心理学科、関西国際大学、神戸国際大学、大阪国際大学人間科学部人間健康科学科など

〈短期大学〉

湊川短期大学人間生活学科、大阪成蹊短期大学栄養学科2名、関西外国語大学短期大学部外国語学部英米語科、京都外国語大学短期大学部キャリア英語科

〈農業大学校〉

岡山県農林水産総合センター農業大学校園芸課程果樹コース、岐阜県立国際園芸アカデミーマイスター科

〈専門学校〉

ピューティ&ブライダル専門学校、大阪医療技術専門学校医療療心理科、修成建設専門学校工業専門課程・第1本科(昼) 建築学科、土木工学科、環境リノベーション学科、大阪法律専門学校法律社会学科消防官、AST関西経理専門学校 経営情報コース、大阪ベルエベル美容専門学校美容科2名、大阪動物専門学校動物管理学科、辻学園調理製菓専門学校上級調理師科、製菓衛生師本科、大阪医療福祉専門学校理学療法士学科、なにわ歯科衛生専門学校歯科衛生士学科、大原簿記法律専門学校

校梅田校消防士コース、近畿医療専門学校柔道整復学科、辻学園栄養専門学校栄養士学科、大阪テーパーク・ダンス専門学校テーマパーク学科、大阪大学歯学部付属歯科技工士学校、大原簿記法律専門学校梅田校公務員総合コース、近畿リハビリテーション学院第2理学療法学科

令和2年度同窓会入会式

令和2年度卒業式前日に代表幹事と小南会長による入会式がおこなわれました。

令和2年度 幹事

瓜田耕作	FF	梅尾菜々香	KR	國吉琉姫	BS
大井如斗	FF	元井貫太	KR	中辻大輝	BS
西村優輝	FF	中西康太	BS		
藤田詩之	FF	南田絵美子	BS		

離任の紹介

氏名	教員	備考
関哲也	体育	
毛戸淑子	英語	
西岡久夫	農業	本校講師
藤野章子	農業	本校講師
曾我孝則	農場	本校専門員(再任用)
河原恵梨	国語	懐風館高教諭
早川民明	農業	なにわ高等支援教諭
檜原佐代子	農業	農芸高教諭
渡辺均	事務	渋谷高主査(再任用)
鍛治哲彦	事務	府警本部
則松直人	農業	淀川清流高教諭
明石秀夫	国語	箕面東高講師
今川裕太	社会	大教大附属池田校舎講師
永田俊幸	農場	

科目「探究創造」をスタート!

本校では、令和3年度から学校設定教科「グローバルサイエンス」における科目「探究創造」を開設しました。

この「探究創造」の到達目標として「科学的、論理性をもとに探求活動において課題を発見し、解決していくためのプロセスを身につける。主体的に新たな価値の創造に挑み、それらを地域社会あるいは国際社会の発展のために生かすための態度や素養を育む。」ことを掲げました。

2年生の希望者のみの選択科目とし、まとまった時間を確保することのできる土曜日の開講としましたので、土曜日であっても登校し学びを深めようとする意欲の高い生徒23名が選択してくれました。担当教員は、フラワーファクトリ科 佐藤友先生、環境緑化科 橋詰五百騎先生、バイオサイエンス科 平尾豪基先生の3名です。

授業の大きなフレームとしましては次のとおりです。

- 【1】PBL学習 (Project Based Learning) をベースに、「第3回高校生未来サミット」と連携して、福島県の農家との交流事業を実施する。※
- 【2】知的財産教育、地域創生、SDGs、国際理解に関する学習を通じて科学的な思考力や論文作成能力を育成し、大学等への進学や研究活動の充実につながる力を身につける。※

※【1】「第3回高校生未来サミット」

8月28日(土) 29日(日)の「第3回高校生未来サミット」への参加に向けて、Zoomを使用し、主催者や福島県の講師の方からの講義とワークショップを開催しました。

4月10日	福島農民連	佐々木健洋さん	テーマ「持続可能な食料・農業・エネルギーに挑戦」
4月24日	ひぐらし農園	浅見 彰宏さん	テーマ「課題先進地福島で考えた未来の農業の形」
5月8日	有機農業研究会	近藤 恵さん	テーマ「農業の新しい地平線」
6月5日	農民連食品分析センター	八田 純人さん	テーマ「え?からはじめたい食の未来を考えること」
6月19日	モーモーガーデン	谷 さつきさん	テーマ「牛力草刈りで、あたたかい復興」

なお、新型コロナウイルスの感染拡大のため、「第3回高校生未来サミット」は延期となりましたが、8月29日(日)に現地の方々と本校生徒たちとをオンラインによりつなぐという形で開催することになりました。本校生たちは、自宅からZoomにより参加しました。

主催者の福島農民連さんからは、前日までに福島県産のお米、味噌、ナシなどを探究創造の授業を選択する生徒全員に送付してください、当日は、各家庭でそれらを使用し作った味噌汁と炊いた飯を食べながらでの活動となりました。本校からは生徒14名と教員4名、福島県立安達東高等学校の生徒1名が高校生として参加しました。

当日は、探究創造の授業で講義をしていただいた4名の講師の方々と福島大学の先生方にご指導をいただき、福島大生の皆さんにはファシリテーターとしてワークショップを運営してい

ただきました。

ワークショップとしましては、4人の講師の方のテーマごとにグループに分かれて、Zoomのブレイクアウトルームを利用し、講義内容についての感想や質問、課題解決に向けての意見交換など、Googleのjamboardを活用し話し合いを進めました。それぞれのルームでは、大学生たちが温かくしっかりと高校生をフォローしてくれていたこと、本校生たちが初対面の大学生たちを前にし、自分の意見や考えをしっかりと周りに伝えることができていたことです。このことは、4月から探究創造の授業を進めてきた成果でもあります。

11月20日(土) 21日(日)には、この未来サミットをあらためて開催していただけると伺っています。せっかくの機会ですので、多くの生徒が参加し、福島での学びをより深めてもらいたいと思います。



※【2】①知的財産教育

6月5日・19日 山口大学知的財産センター准教授 陳内秀樹さんから「農業分野の知的財産～GAPIによる標準化と知財によるブランディング～」をテーマにZoomによる講義を受けました。

また、本校平尾教諭からは、特許コンテストを中心に農業学習の中での知的財産について学びました。

9月25日 バードデザインハウス代表の鳥山大樹さんを招き、商品開発にむけてのプロセスを学びます。

②地域創生

11月6日 能勢の菊英窯を訪問し、実習と講義を通じ、能勢さとやま創造館の小谷義隆さんから里山保全や知的財産の創造に向けて学びます。

③論文作成

10月30日・1月15日・2月5日 ライティングオフィス・トリガーワークスの松見敬彦さんから、論文作成の基礎とノウハウを学びます。

④SDGs

12月18日 NPO法人コクレオの森の藤田美保さんからSDGsカルタを用いてSDGsについての理解を深めます。



編集後記

2年に及ぼうとするコロナ禍。イベント、行事も殆どなく、編集子は取材に苦勞するばかり。ある放送で「コロナ禍が象徴するように、コロナパンデミックや地球温暖化で災害が猛威を振るう状況は、人類に自然、環境に対する向かい方を改めさせようとしている。動植物は平常に暮らしているのに人間の世界は?人類はどこかで思い違いをしてしまった」と。文明文化、科学の進歩が必ずしも人類の豊かさを保障しない時代を迎えた。今、重要なのは自然との共生への認識を深め、人類の協力を図ること。正に、園芸高校の持ち味を発揮しなければならない時。大園の我々の使命を果たす時!!

大園同窓会ホームページ <http://www.daiendosokai.com>

同窓会では皆様方の交流の場となりますようホームページを開設しております。今回ホームページをリニューアルし、IDやパスワードがなくても簡単に誰もが閲覧できるようになりました。同窓会では、連絡先や住所の変更依頼を当web上でも受け付けられるようになりました。詳しいご利用方法、お問合せやこのホームページに関するご意見・ご感想は、下記お問合せ先までご連絡ください。

※また、今回より卒業生の経営される会社や勤務先情報、求人広告等をバナーにてリンクできるように受付させて頂くことになりました。ご希望がありましたら、1社あたり5万円にて当ホームページにバナーを添付し、会報にも広告として掲載させて頂きます。ご応募をお待ちいたしております。

【問い合わせ先】 info@daiendousokai.comまで

事務局あて先 連絡は郵送かFAX、メールに限ります。電話での問い合わせにはお受けできません。

大阪府立園芸高等学校内 大園同窓会事務局 〒563-0037 大阪府池田市八王寺2-5-1 FAX 072-761-9295